



## 現場管理者の声を聞く

現場代理人  
土木統括部 施工管理グループ  
加藤 真之介 (勤続12年) 日本大学 卒

私は2018年より6年間、鹿島建設様の浜松町駅周辺の工事に向井建設の現場代理人として従事しています。当現場は、近隣に同様の再開発工事が非常に多く、施工スペースも限られるため、多くの連絡調整が必要で難易度の高い工事です。その中で、元請職員や協力会社と常に工法や施工の提案を行い、高品質の躯体構築を目指して施工を進めています。自分一人では到底管理しきれないのですが、若手社員2名のフォローもあり、現場は順調に推移しています。この現場で欠かせない2名の社員は、先輩としても鼻が高く、これからも当現場で技術・技能を研鑽し続けてもらいたいです。



土木統括部 施工管理グループ  
千葉 真斗 (勤続3年) 岩手県立黒沢尻工業高校 卒

当現場で施工管理を行っている私ですが、現場を進めると様々な困難が立ちはだかることを実感しています。最近、苦労したことは、重機掘削で、スペースが狭く悪天候が続き、なかなか作業が進まなかったことでした。しかし、元請職員や重機オペレーターと詳細な打ち合わせを重ねた結果、作業を円滑に進めることができた時は「やった、うまくいった」と感慨無量でした。今後も一つひとつの問題に真摯に「たち向かい」、着々と変化していく浜松町駅に携っていることを誇りに感じ、現場の安全施工に尽力していきます。

土木統括部 施工管理グループ  
高橋 蓮 (勤続3年) 山形県立酒田光陵高校 卒

当現場は、既存駅舎や既存建屋を残置したまま躯体構築を行っており、その上、各所の調整が多く難工事となっています。多くの工種、1日の作業量が多い中、現場状況を把握して人員調整するのに苦労していますが、お客様からの要望にしっかり応えられるよう日々仕事に取り組んでいます。この現場は、モノレールの駅舎ということもあり、社会基盤の整備に携われていることを誇りに思い日々安全施工に取り組んでいます。



モノレール駅部を支える新設構造物